

令和3年度 5月号

ボランティアセンターだより

# たいたい



編集・発行 胎内市社会福祉協議会  
地域福祉係  
ボランティアセンター  
胎内市西本町 11-11 ほっと HOT・中条内  
TEL 0254(44)8682 FAX 0254(44)8651  
E-mail borasen@tainai-syakyo.or.jp  
HP <http://tainai-syakyo.com/>



風薫る5月、1年のうちでもっとも過ごしやすい季節になりました。この5月に関連した言葉に「五月雨」「五月晴れ」がありますが、正しい読み方を知っている人はどのくらいいらっしゃいますか？「五月雨(さみだれ)」は旧暦の5月(現在の6月)に降る雨、つまり梅雨のことです。そして、「五月晴れ(さつきばれ)」はもともと、その「梅雨の晴れ間」の意味ですが、現在では「5月の晴れわたった空」という使い方も一般的になってきました。

息苦しさを感じる状況下ではありますが、どうか健康に気を付けて、ストレスを抱えない生活を心がけていきましょう。晴れわたった空のもと、気持ちも体も外に向かっていきたいものですね。

## 太陽生命厚生財団『2021年度 社会福祉助成事業』

### 趣旨

社会福祉の向上に寄与するために、生活福祉分野で地域に根ざし地道な活動を行っているボランティアグループ等が実施する事業への助成を実施します。特に本年度は、コロナ禍の状況において「新しい日常」を念頭に置き3密を避けるための工夫や、感染防止への取り組みを積極的に行っている事業への助成も考えています。

### 助成事業、対象及び金額

#### ★事業助成

ボランティアグループ等が在宅高齢者または在宅障がい者等のために福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対し助成します。

※ 2022年3月末までに事業が完了するもの

#### ★助成対象

地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよびNPO(法人格の有無は不問)  
(在宅高齢者等への地域公益事業・生活支援事業を行う社会福祉法人を含む)

#### ★助成金額

1件 10万円～50万円 合計 1,800万円

### 応募申込書・要綱の請求について

ホームページからダウンロードする場合財団のホームページからダウンロードしてください。又は胎内市ボランティアセンターへご相談ください。

★太陽生命厚生財団ホームページ <http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/>

#### \*郵送をご希望の場合\*

応募申込者の団体名、郵便番号、住所、氏名を記載し下記「問合せ先」へ6月16日までにFAXまたは郵便でご請求ください。請求受付後「応募申込書等一式書類」を応募者あてに郵送いたします。

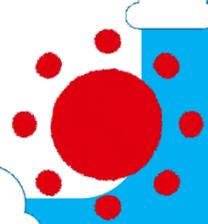
### 応募締切

2021年6月30日(水曜日) 郵送による必着(FAXによる送信は不可)

### 問合せ先

〒143-0016 東京都大田区大森北 1-17-4 太陽生命大森ビル

公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局 TEL・FAX:(03) 6674-1217



# With コロナの今だからこそできること

## 新型コロナの中でのボランティア・市民活動参考事例をホームページで公開

東京ボランティア・市民活動センター (TVAC) (東京都)

新型コロナウイルスの感染防止をしながらでも、やれることはある！と、東京都内でさまざまな工夫・アイデアを凝らして活動を続けている団体があります。そこで、東京ボランティア・市民活動センターでは、2020年3月～4月にかけて、都内区市町村ボランティア・市民活動センターを対象に2回のアンケートを実施し、それらの結果から、ボランティア・市民活動を進める上での厳しい状況が浮かびあがるとともに、地域で活動する団体が創意工夫を凝らしながら、活動を継続していることを把握しました。調査を実施した団体の活動事例がホームページで紹介されているのでご紹介します。下記 URL、QR コードからご覧ください。

コロナ禍における様々なボランティア活動が下記の通り、Web 上で紹介されています。胎内市の皆さんの今後の活動にお役立ていただければ幸いです。



### 新型コロナの中でのボランティア・市民活動参考事例集

<https://tvac.or.jp/corona/jireisyu/index.html>



## 男性シニアボランティアグループからこども食堂へ手づくり野菜を提供中！

大阪市鶴見区シニアボランティア アグリ (大阪府)



平成 29 年、大阪市鶴見区社会福祉協議会は、男性シニアの社会参加を目的とした協同菜園ボランティアの講座を地元農家の方や JA 大阪市の協力で開催しました。そして平成 30 年、自主グループ「鶴見区シニアボランティアアグリ」(以下、アグリ)が誕生しました。現在は、区内に住む男性 16 名(平均年齢 75 歳)が当番制で水やり等の活動を行い、週 1 回は畑でミーティングをしながら野菜づくりの協同作業をしています。

アグリで活動で作られた野菜はこども食堂へ提供しています。「こども達に食べてもらおう野菜だから」と、ボランティア活動振興基金で防虫ネットや支柱等を購入し、無農薬の野菜づくりを心がけています。

屋外活動ということで、アグリは今年も 4 月から夏野菜の栽培を続けてきました。緊急事態宣言解除後、新型コロナ感染症予防対策を取って再開したこども食堂が 2 団体あったので、アグリも野菜の提供を再開しました。こども食堂のスタッフからは、「いつもおいしい野菜をありがとうございます！」と嬉しい言葉が寄せられています。

鶴見区社協も畑へ行き、新型コロナ感染症と熱中症予防対策として、「マスクは適宜外し、声をかけ合って水分補給してくださいね」と、お伝えしています。

コロナ禍ではありますが、アグリの方々と「こども食堂」の運営スタッフ・参加する子どもさん達は、野菜を通じて「つながり」を維持しておられます。身体に気をつけて、これからも元気に活動していただければと思っています。

その他の活動も下記 URL、QR コードからご覧いただけます。

### 新型コロナウイルス下での“つながり”をあきらめない地域福祉・ボランティア活動交流サイト

<https://tunagari-action.jp/>



コロナウイルスの一刻も早く終息を願いつつ、今後もコロナ禍におけるボランティア活動の情報をお届けしていきたいと思っております!!

